

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公表番号】特表2015-528814(P2015-528814A)
 【公表日】平成27年10月1日(2015.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報2015-061
 【出願番号】特願2015-524805(P2015-524805)
 【国際特許分類】

C 0 7 C 229/22 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 13/10 (2006.01)
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)
 A 6 1 P 31/20 (2006.01)
 A 6 1 P 31/12 (2006.01)
 A 6 1 P 31/04 (2006.01)
 A 6 1 P 31/10 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 17/02 (2006.01)
 A 6 1 P 17/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/221 (2006.01)
 A 6 1 K 31/222 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 229/22 C S P
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 13/10
 A 6 1 P 1/04
 A 6 1 P 31/20
 A 6 1 P 31/12
 A 6 1 P 31/04
 A 6 1 P 31/10
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 17/02
 A 6 1 P 17/00
 A 6 1 K 31/221
 A 6 1 K 31/222

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

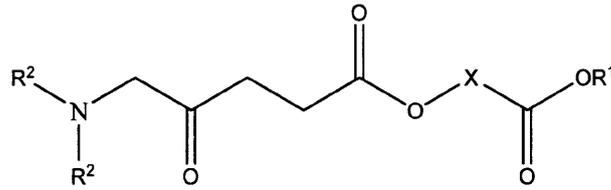
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式Iの化合物、またはその薬学的に許容される塩。

【化 3 8】



(I)

【式中、

R^1 が、水素原子または任意に置換されたアルキルもしくはシクロアルキル基を表し、
 R^2 が、それぞれ同一または異なってもよく、水素原子または任意に置換されたアルキル基を表し、

X基が、直鎖状もしくは分枝状のアルキレン基、シクロアルキレン基、アリーレン基、またはアラルキレン基であり、これらの各々が、1つ以上の非親水性置換基によって任意に置換されてもよく、

前記 - X - CO₂R¹部分の前記 - CO₂R¹基が、親水性である。]

【請求項 2】

前記非親水性置換基が、ハロ、ニトロ、およびアリアルから選択され、前記アリアルが、1つ以上のハロ、アルキル基、ハロアルキル基、アルコキシ基、またはニトロ基によって任意に置換される、請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】

R^1 が、水素であるか、またはメチル、エチル、n-プロピル、もしくはイソプロピルである、請求項 1 または 2 に記載の化合物。

【請求項 4】

R^1 が水素である請求項 3 に記載の化合物。

【請求項 5】

X基が、1~6の炭素原子からなる直鎖状のアルキレン基である、請求項 1~4のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 6】

X基が、1~4の炭素原子からなる直鎖状のアルキレン基である請求項 5 に記載の化合物。

【請求項 7】

X基が、任意に置換された直鎖状 C₁₋₄アルキレン基、任意に置換された分枝状 C₂₋₆アルキレン基、任意に置換された C₅₋₆シクロアルキレン基、任意に置換された C₆₋₁₂アリーレン基、または任意に置換された C₇₋₁₅アラルキレン基である、請求項 1~4のいずれか一項に記載の化合物。

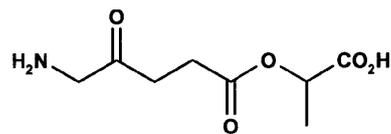
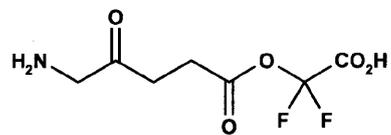
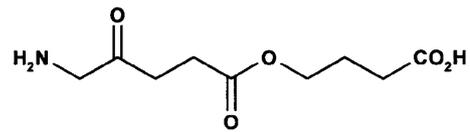
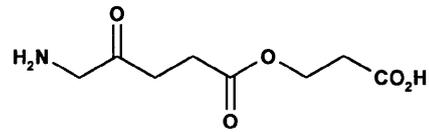
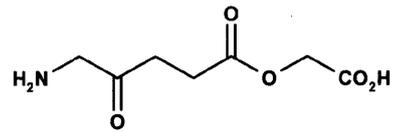
【請求項 8】

各 R^2 が、水素を表す、請求項 1~7のいずれか一項に記載の化合物。

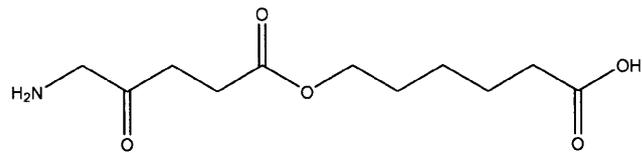
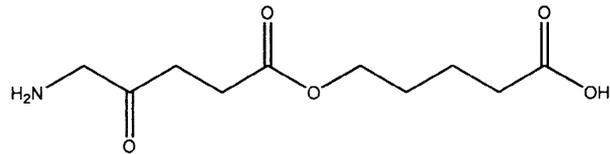
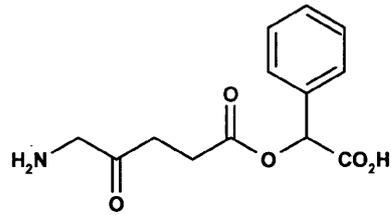
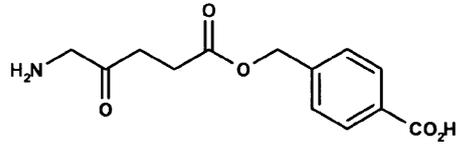
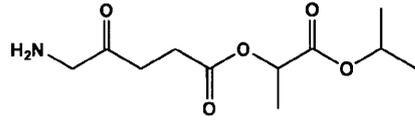
【請求項 9】

以下のうちのいずれかから選択される化合物、またはその薬学的に許容される塩である、請求項 1 に記載の化合物。

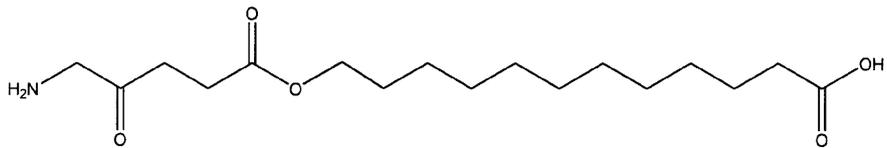
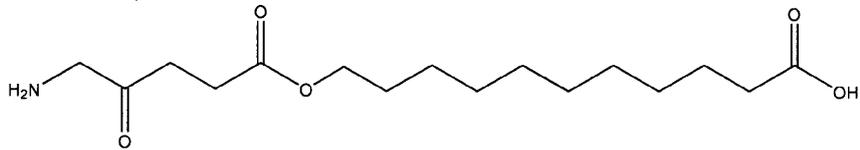
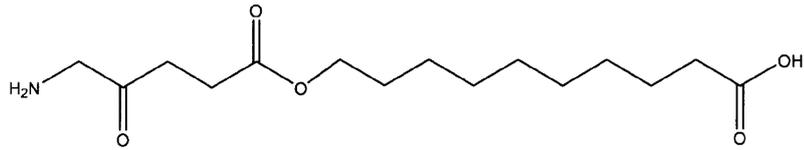
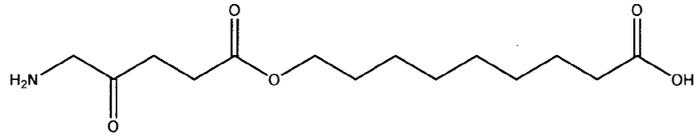
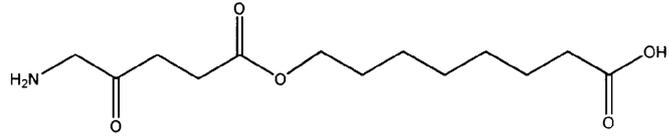
【化 3 9】



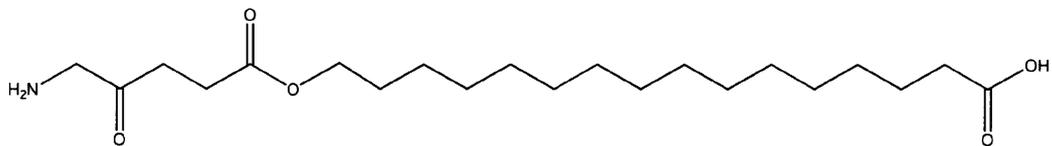
【化 4 0】



【化 4 1】



および



【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の式 I の化合物、またはその薬学的に許容される塩を含む、組成物。

【請求項 11】

少なくとも 1 つの薬学的に許容されるか、または美容的に許容される担体または賦形剤をさらに含む請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 12】

式 I の化合物が、X 基が、1 ~ 6 の炭素原子からなる直鎖状のアルキレン基である化合物である、請求項 10 または 11 に記載の組成物。

【請求項 13】

式 I の化合物が、X 基が、1 ~ 4 の炭素原子からなる直鎖状のアルキレン基である化合物である請求項 12 に記載の組成物。

【請求項 14】

式 I の化合物が、 R^1 が、水素であるか、またはメチル、エチル、 n -プロピル、もしくはイソプロピルであり、 R^2 が水素である化合物である、請求項 13 に記載の組成物。

【請求項 15】

式 I の化合物が、 R^1 が水素であり、 R^2 が水素である化合物である請求項 14 に記載の組成物。

【請求項 16】

光線力学的治療または診断の方法において使用するための、請求項 10 ~ 15 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 17】

前記方法が、癌；癌に関連した感染；ウイルス、細菌、もしくは真菌感染；または非癌性状態の治療または診断のためである、請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 18】

前記方法が、癌の治療または診断のためである請求項 16 に記載の組成物。

【請求項 19】

癌の光線力学的治療または診断の方法において使用するための、請求項 12 ~ 16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 20】

光線力学的治療または診断の方法において使用するための、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の化合物。

【請求項 21】

前記方法が、癌；癌に関連した感染；ウイルス、細菌、もしくは真菌感染；または非癌性状態の治療または診断のためである、請求項 20 に記載の使用のための化合物。

【請求項 22】

前記方法が、癌の治療または診断のためである請求項 20 に記載の使用のための化合物。

【請求項 23】

癌の光線力学的治療または診断の方法において使用するための、請求項 3 ~ 6 のいずれか一項に記載の化合物。